

【ついに1グラム5200円ほどに上昇してきた金＝ゴールド】

どうもゆうです！

読者さん、こんにちは。

さてさて、この前ですが、

【2017年度、日本の飲食店倒産件数が前年比の19.2%増になったことを考える！】

(また、その対策を考える)

という号を流しました。

日本全体というか先進国での不景気が

もう顕在化しているということですね。

それで・・・今はその不景気がこう見えづらいようになっていて

株価なんか高いのだけでも、

ここで・・・私のメルマガで頻繁に登場する

金地金＝ゴールド、がもう最近かなり高くなってきていて

1グラム5200円くらいになってきています。

実は、私ゆうがこの1週間最も注目していたのが金地金とドル円でして

金地金投資家がみんな注目していたのが月足での75日移動平均線の

1330ドル～1340ドル台のゾーンだったと思うんですね。

月足で言うと

2016年7月と、2017年の1月にこの75日移動平均線に

金地金が挑戦してるんだけどNY金融界先物の売り崩しに負けておりまして、
跳ね返されて、ドル防衛が成功してました。

それで今回3度目の正直で金地金が75日移動平均線の

1330ドル～1340ドルに挑戦しましたが、

今回の勝負は金地金が勝った。

1360ドル台まで今週抜けました。

それと同時にドル円急落、109円台になりました。

またここで金地金と間逆の動きで、

仮想通貨は低迷してます。

(すなわち、仮想通貨は有事の逃避先にならない、

と、チャート相関分析の視点からは言えます。)

日本円ベースで言うと大体1グラム5200円前後まで
上昇です。

ただ・・・金買え論者でもっと安いときから金のよさを書いていた

金信者の私は

今の1グラム5200円でも安い、と考えますよ。

編集後記で！

=====編集後記=====

さてさて、金地金については私のメルマガでは昔から
かなり注目していて記事にしているのだけど

もう昔はメルマガで書いていたときは1グラム4000円くらいでしたが
いまや1グラム5200円です。

昔は金価格は1グラム7000円とか8000円は超えてくる
確率が非常に高いと書いてましたけど

最近は状況がさらに変わったとっていて、
7000円とか8000円じゃ済まないなと思ってまして、

2020年台には1万円台～2万円台がベース価格になるのを
私は想定しだしてます。

(仮想通貨の値動き見る限りもっと跳ね上がる可能性ありかも。)

私は金信者であると自分で公言してるのですが
まあこれから2020年台にかけては金は注目ですよ。

ちなみに今の段階で世界の株価が上昇している段階で
ペーパーマネーがまだ価値ある段階で

金がこれから来るって言う人は変人扱いされてるわけですが、

それはやはりビットコイン信者が最初変人扱いされてたけど
今資産家になっているように、

金なんかもやはり正当にこれからは評価されてくるのではないかと、私個人の考え方としては思います。

それで、このメルマガを書いている2018年1月25日の
相場状況ですが、

まず非常に私が注目していたのが上に書いております、
金価格の月足移動平均線75日、での攻防でした。

1340ドル付近での攻防ですね。

以前に2度この数年跳ね返されてるのがこの75日
移動平均線なんだけど、

2018年1月にとりあえずこの移動平均線を突き抜ける動きが
月足ベースで出た、というのは注目しておりますね。

一応チャートは自分で見たほうが勉強になると思うので
チャート広場のチャート見るといいでしょう。

金地金の価格チャート(一番下の月足で見ましょう)
<https://chartpark.com/gold.html>

それでチャート広場だと移動平均線75日は出ていないのですが
1340ドル付近に75日移動平均線のレジスタンスはあったんですね。

ここでNY先物がドル防衛のために売り崩すのか、
中国ロシア勢が買い上げてここを突き破るのかという

壮絶な攻防が今週の攻防でしたが・・・

結果、中国ロシア勢の実需による金買い勢力の勝ちでした。

それで2011年の9月の月足のひげ上部から、
2012年の10月の月足の実体部分あたりにあわせて
トレンドラインを下向きに引っ張ると

分かるんだけどこれは上抜けしているんですね。

それでこれは野田式FX道場のときの動画で学んだと思いますが

ここで一旦2017年の8月にトレンドラインを上を突き抜けて

そのあと下落してます。

しかし先月の12月の月足でその以前はレジスタンスだった

トレンドラインが次はサポートになって、

下ひげつきのピンバーが出てるんですね。

自分で引くと分かると思いますが、

大きくは、そういうチャート形状です。

一応メタトレーダーだとこんな感じですね。

(画像) 金チャート月足の状況

<http://yuhfx1.com/gazou/trade/20180125gold.jpg>

(青い線が75日移動平均線)

一応流れとしては一旦、4ヶ月前に75日のレジスタンスに

2回目のトライを跳ね返されてまして、

それでNY先物市場で空売りで価格が崩されてるのだけど

下向きトレンドラインの以前はレジスタンスだったゾーンが

サポートになりまして、

さらに黄色いMAは25日なんだけど

この25日移動平均線と、以前のトレンドラインが

サポートになって、そこで跳ね返されてますね。

そしてここで25日移動平均線(黄色)にサポートされる形で

ピンバー出現です。

ちなみにこのチャート形状が、仮想通貨でもドル円でも株でも出た場合は、

このチャートだと、25日移動平均線にサポートされた先月のピンバー下に損きりいれて、エントリーはそのピンバーの高値の上、とすると大体勝つ形状ですね。

その際にピンバーってのが25日 MA と、以前のトレンドラインに2つサポートされてるってのが重要です。

といっても金の場合は長期保有で投機ではなく投資であるので損きりという概念は入れないでとにかく持つというのが良いとも思いますが、

このようなチャート形状だけで勝負するとまあ仮想通貨とかはなかなか負けないよね、っていうのもありますね。

んで、しばらくこの75日移動平均線の戦いが数ヶ月に渡って存在していたけど今回は金地金が突き抜けてきたんですね。

これはおそらく市場で見ている人たちは多かつたはずで、そこで一気に市場も反応しまして、

ドル円なんかも一気に109円台まで入りました。

トレンドラインを上抜けして、

そこでリターンつけて、再度上がる。

これは野田さんが教えていたリターンムーブで

私は根崎さんにブレイク アンド フック アンド ゴーと

いう名前で教わっていますが

(両方とも同じ意味です)

ここで明らかに今まで売り勢力優勢だった状態が

先月～今月の動きで交代したのがテクニカル上では確認された、

というのが大きいですね。

ちなみに先月のリターンの動き(一度上がって下がってからの

また上昇)は結構月足ベースで根拠は強くありまして、

トレンドラインでの売り勢力と買い勢力の勢力転換、

が見られるということ

25日移動平均線にサポートされている、

あとはピンバー付いてる(プライスアクション)

の根拠のある上げですので、結構強い上げになる可能性がある
というのは想定できます。

(もちろん100%じゃないですね。その傾向というレベル)

それでダウ理論の根拠はまだ弱くて、

2016年7月の高値は今の時点では更新してませんから

ここの攻防が見ものです。

ただ確率的な考え方だと、以前2回アタックして落とされて

3回目のレジスタンスアタックなんですけど

実はこの3回目で抜ける確率は高いと言われてるので

(失敗して4回目になる場合もありますが)

ここ突破してきたら結構すごいことになるかもしれません。

チャート見ると分かりますが上に大きく窓が開いてますから。

それで・・・金価格はこの動きを受けてもう1月は

1グラム5200円まで上昇してきてますね。

今は円高の影響もあって5170円くらいだと思うけど

1月9日には5200円にまで対円ベースで上昇してきてます。

「金が徐々に強くなっている」というのが

今の世界の状況でして、

ここで実は VIX の恐怖指数も、反応しだしてますね。

それでドル円も下落、という感じで反応してます。

ということでマーケットはちょっと危機感を感じ出しているのが

分かるのだけど、

ここで重要なのは「有事の金」と言われるのですが

仮想通貨なんかは一応言われてたのが

「デジタルゴールド」という名称でした。

が、今のビットコインの状況はこの前暴落してから

低迷したままです。

本来、もしビットコインなり他のアルトコインが

「デジタルゴールド」であるならば、

ここに金地金のように逃避資金が入ってきて、

価格が上昇していないとおかしくて、金地金と連動しないと

いけないのだけど

だからドル円が円高に進むならば、デジタルゴールドというならば
それが上昇していないとおかしいわけですね、
相関関係として。

ただその相関関係は月足とか週足ベースの大きな時間足では
見ることはできませんで

むしろドル円が下落してビットコインも同時下落ということで
テクニカルチャート分析から言うと
ビットコインというのはNY金融界の傀儡、という見方にはなるわけです。
デジタルゴールドではない。

だからテクニカル分析の相関分析から言うと、
ビットコインがデジタルゴールドであるというのは
ないだろう、というのが言えるところですね。

むしろNYダウなんかはこの前は連動してましたし、
ジャブジャブマネーをやってるドル防衛勢力側の
チャートをビットコインは形成していた、と言えます。

この辺はビットコインの大暴落を見事19000ドル台まで
提示して言い当てたダイスケさんなんかも分析されていたことだけど

この辺は仮想通貨がブームではあるけども、
一歩引いて考える必要はありそうです。

そしてそれに一番早く気づいてるのが以前書きましたが
ビットコインで何百億円、何千億円稼いだ人たちであって

彼らが実はこの金上昇の金買いをしている勢力の一部でも
あると思ひまして、

私が知ってるのが仮想通貨長者たちが
デジタルゴールド、を手放して、金地金に資産ポートフォリオを
移しているというところですね。

この辺は仮想通貨ブームだけど、大きな金融のチャートの動きとして
捉えておく必要があるのかなと思います。

それで、まだ75日移動平均線という一つの障壁(レジスタンス)
を数年ぶりにクリアしただけなんですけど

次の2016年7月の高値攻防でここで金が勝っていくと・・・

金融不安ってことになるんですね。

チャート形状的に遅くとも今年中にはこの動き出てきそうだな
って思います。

それでドル指数 **Dollar index** というのがあるんだけど

ドルインデックス(ドル指数)は、複数の主要通貨に対する、米ドルの為替レート(相場)を指数化したものですね。

ブルームバーグのサイトが見やすいから見てみましょう。

ドル指数(5年をクリックして見て下さいね)
<https://www.bloomberg.co.jp/quote/DXY:CUR>

それでテクニカル的にはドル指数の大きなラインがですね、2017年の9月15日の91ポイントだったんです。

それを今月の1月に下抜けしました。

このチャート見ると分かるんだけど今長期でドル買いはリスクがかなり高いと言えますね。

ドルが明らかに弱くなっています。

それで同時に金が強くなっています。

ということはこれは明らかにリスクが上がっているわけでやっぱりそれと同時に VIX の恐怖指数も上がっているわけです。

ただ・・・ここで面白いというか異常な相関現象が起こっていて通常、

金が上昇、ドル円下落(ドル指数下落)、VIX 上昇となれば、

当然 NY ダウなんかは急落していたのだけど

なんと NY ダウだけは高値更新してるんですね。

これは私の情報だと、ジョージソロスなんかのグローバルマクロ系の

ファンドが売りポジ持ってるらしくて

それをトランプは刈り取りたいみたいですが

大きくはそこでトランプなんかが一時的に NY 金融界とくっついて

吊り上げてる可能性が高いかなと見てます。

操作されてますね。

私はトランプを支持してる人間ですが、

あの人はとりあえず目的達成のためには何でもやります。

なので NY ダウの動きだけおかしい状況でして株価だけは

高止まりしているわけですが

そこで昨日の記事の

【日本の飲食店倒産件数が前年比の19.2%増になったことを考える！】

の話になるけど

実需に影響されやすい飲食店なんかは

株価関係なく、今の金融市場のドル下落、金上昇、VIX 上昇の動きに沿って、売り上げ落として倒産件数を増やしているってことでして、

先進国日本の飲食店の倒産件数が増えてるっていうほうが今の世界市場の実体を示しているということですね。

アメリカも小売業は今も苦しいでしょう。

それで今は株価と実体経済の乖離状態が激しいわけですが乖離っていうのは修正されますね。

だから、金が上がり、ドルが下落、恐怖指数が上がるという状況ですが

これはいずれかの段階でおそらく今年中には大きな修正段階が訪れることは想定しておかないといけないですね、テクニカル的な見方だと。

となると・・・これはやはり世界恐慌がこれから必ず近いうちに起こってアメリカの覇権衰退が起るわけですけど

(そこで BRICS なんかに徐々に覇権は移っていく。

アメリカは地域覇権国として生きていく)

そうするとやはりアメリカ発で何かがこれから起こる可能性が高い
という見方になるわけです。

トランプが本当にアメリカ経済を引き上げて、株価を
順調にあげていきたいなら、

今みたいな急激な上昇は許容するはずもなく

一度下がって、また上がって、また下がって、上がって
というダウの波を作りながら、経済・金融運営していく
必要性があるんだけど、

彼の場合違って、明らかにバブル作り出してるんですね。
自滅策です。

自爆するためにやってるようにはしか見えません。

が、トランプはそもそも選挙前に

「米国債はデフォルトすればいいんだ」

という主旨を言っていますから、

(日本では報道されていないけど)

「米国の景気が悪化すれば、債務の再交渉もありうる」

と、発言しています。

これはデフォルトしてもいい、っていう意味。)

彼が大統領になって自爆戦法を取るのはなんら不思議じゃない
わけですし、

実はすごい筋通しています。

それで重要なのがもう中東問題は ISIS を大体殲滅させているし
あとは極東なんですね。

トランプは軍産複合体と闘争している大統領で

FRB 解体を主張した JFK と本質的思想は似てるとも言えますが

軍産が喜ぶのがやはり極東の軍事的混乱です。

それでトランプのツイッター見てる人は分かると思いますが

彼が韓国のムンジェイン大統領に関して

「彼が北朝鮮の金正恩とうまくやるというなら

それは注目だ、見ておこう」

みたいな寛容な発言をしてるのだけど

そもそもこの構図を仕組んでるのはトランプやキッシンジャーです。

朝鮮半島の南と北の恒久的対立というのが
軍産複合体の大きな利権になっていたのだけど

これをムンジェインが崩そうとしているわけですね。

今のオリンピックでのアイスホッケーの南北合同チームの話
ってのは

次にムンジェイン大統領がやらなければいけなく
なんとしても成功させないとイケないのが

北朝鮮を仮想敵とした

以前延長した米韓合同軍事演習の完全中止ですけども

これは軍産にとっては大打撃、トランプにとっては
成功となりますが、

これをトランプなんかはムンにさせようとしています。

ここまで見えてる人はあまりいないと思うけど

実際はそうです。日本のマスコミは官僚側だから

この大きな動きを伝えないですね。

それでムンジェインがこの米韓合同軍事演習の完全中止できるかどうか
がかなりの分かれ目で失敗した場合は

極東情勢脅威がこれからも継続、もしくは悪化するシナリオ、

成功すれば一気に極東情勢の軍事緊迫問題は緩和していく
方向になりますね。

それで最終的方向は、在韓米軍撤退議論になります。

そしてその後在日米軍撤退議論に2020年台につながっていく
という大きな流れです。

日本の官僚の力の源泉は在日米軍ですけども

彼らと米日合同委員会なんかで日本の政治は決めてるけども、

これがいなくなれば・・・

当然のごとく、官僚は大きく追い込まれていくから

当然ムンジェインが在韓合同軍事演習を中止する流れに

警戒するし、失敗してほしいと思ってますし、

だから今回のアイスホッケーの南北合同チームを

日本マスコミに官僚たちが批判させるのは

南北合同チームってのがこれは米韓合同軍事演習中止の前の

ムンジェインのある種の準備、

ボクシングで言えばジャブだ、と分かってるからですね。

それで大きくはトランプとキッシンジャーがこの

大きな朝鮮半島の動きの背後にいるのは間違いないのだけど

この米韓合同軍事演習がうまく中止できた場合

北朝鮮脅威は圧倒的に下がりますが

その後 じゃあ在韓米軍撤退しようか、と言う話になって

実はこれがトランプが選挙前に言っていた

「米軍を世界から撤退させるアメリカファースト」

につながっていきまして、

トランプは

「中東では ISIS をほぼ殲滅したし

極東のロケットマン問題もなんとかうまくいって

在韓(次は在日)米軍撤退成功させたぞ」

と、いえる。

それで私の考え方だと、トランプはこの極東情勢問題が

なんとか政治的に落ち着くまでは

なかなか NY ダウ崩せないと思うんですよね。

ここで金融不安という要素が加わってこれば

一気にこれ、トランプには不利になりまして軍産を利することに

なりますから。

だから今時間の問題でして、はやく朝鮮半島問題が融和していき、

それまでは金融危機っていうのがまだ顕在化しないというのが大事でして、

そういう意味ではその辺の時間の戦いというのが実際あるだろうと思います。

ただ既にドルインデックスも崩れてきていて、なおかつ、金ドルも高値アタックしだしている、VIX 恐怖指数も反応しだしている、

という状況ですから、

ほんといつ世界恐慌みたいのが来てもおかしくない状況ですね。

朝鮮半島問題を解決するまでにトランプが金融市場をなんとか延命できるのかどうかは注目です。

それでこういう状況ですので、遅かれ早かれ

一時的には落とされても

金地金ゴールドは上がっていく確率が非常に高いわけですね。

2020年台には相当高くなっていく確率が

今のところ、高いと私は見てます。

それで仮想通貨のビットやアルトコインなんかは

金地金の値動きと相関性が見られませんから、

大恐慌時の資産といえるのかどうかは疑問符はつきますが

一時的な投機として資金を増やすのには役立ちそう、

という位置づけですね。

ただ稼いだらその分を金地金という本来の

「正貨」に回していくというアセットの考え方は大事だと思います。

それでドル指数は安値ぶち割りましたが

これからドル指数は40を長期的に目指していく確率は

高いと。

それで金地金は今年中に1400ドルの大台に乗せられれば、

ですけども

そうすると一気に以前の高値の1920ドルを目指すわけでした

いよいよ本来の実需を反映した価格になりそうです。

金というのは世界中で消費されて、買われて、

富裕層たちに買われまくってるけど

なぜか値段は上がらない仕組みなんだけど

実はNY金融界が空売りで値段さげているんですね。

ネーキッドショートっていいですよ。

ここで先物売り+実需の買いというので

変な価格のつけ方されてるのが金なんだけど

NYで価格が捻じ曲げられてるんです。

が、これが2020年台には価格決定が

上海とかあとは上海とくっつくイギリスのシティでの

根付けに変わってきますから、

となると、これは当然値上がりしていく土台がある

ってことですよ。

ここで値上がりさせることで今まで金地金を

しこたま買っていた中国の人民元とロシアのルーブルを

金に実質担保させることができると

習とプーチンは考えますが

そう考えると2020年代くらいには人々は

「昔のあのときは金が安かったな」

と言ってる可能性もあります。

この人民元とかルーブルを金に担保させる構想は

日本人の多くが馬鹿にしてみていたのだけど、

彼らはまさに中国経済崩壊論者だったけど

崩壊してないわけですね。

私が2010年からメルマガで書いてきたように

中国経済はどんどん強くなっています。

大衆は大体間違えるんです。

そこで金を一番世界で持ってるのは中国ロシアインドなんかの

BRICS ですから、これらの国々がこれから強くなっていくと

思われますね。

それで金投資家の「心理レベル」というのがあって

それが1400ドル台なんですよ。

これを2018年に超えていくかどうか、です。

これを超えていくと次の上昇ステージに金は数年ぶりに

入ることが想定できまして、

まずは1900ドルを目指していくと。

そこを抜ければ次は3500ドルあたりでしょうか。

このシナリオは私は見てますね。

それで暗号通貨なんかでもビットコインは金とは連動してませんが

ただこれから本当に金と連動するような

暗号通貨が登場する可能性もありまして、

そうなったらそれは本当にデジタルゴールドになるかも

しれませんが、

そういう暗号通貨なんかもいずれ登場してくるだろうな

というのは私が見てる点ですね。

そういう意味では大きく今の世界の市場が変化してきている

ということだと思えます。

いずれにしても金地金は1グラムで既に5200円くらいに

なっていてまして、

店頭だと100グラムの金を買うのにも

今は55万円前後だと思いますが、

これはいずれ店頭で金地金の在庫が尽きて

55万円どころでは買えなくなる時代も来るかもしれませんから

金は持ってるだけでもキラキラしていて

良い物だとおもいますから

(だからそれだけでも価値があるんで、

下がってもガチホできるんですね。)

私なんかは金地金なんか目も向けるといいのではないかな

と考えてます。

そしてこれは不思議なことに、金を保有してる人たちは

金持ちになる確率が異様に高いけど、

これは因果関係としては金持ちになるタイプの人が金を保有するのか

もしくは金を保有してるから金持ちになるのか

分かりませんが

実は中国なんかの何千億円、何兆円と持ってる富裕層たちは

金がカネを呼び寄せるといふ考え方、思想を本当に

採用しているんですね。

風水というのは実は人類の統計学であります

科学では説明できないのだけど

今まさに金を世界一持っている中国があそこまで

どんどん富裕層になっているっていうのは

これは金地金保有が実は世界一ということが影響してると

思います。

今は世界一っていうのは表に出していないけどいずれ

出てくるでしょう。

ロシアもすごい持ってます。

ちなみに人々はお金というと、紙幣をイメージしますが、

紙幣はこれ紙ですよ、紙切れ。

けど本当のお金は「正貨」は金なんですね。

これが通貨の考え方としては大事です。

人々は「金投資」とか言いますが

そうじゃなくて金自体が正貨ですから

見方を変えると先進国の人々は

紙切れの紙幣投資をしている、

ってことなんです。

(銀行預金にそのドルとか円とかユーロを預金してる。

けど預金よきんというのは 預「金」だけど

実は「金=きん」ではなくて紙幣だったり電子データだったりする)

だから金を買うってのは元の正貨に自分の資産を戻す

ってことですね。

それで通貨の話をするると本来は通貨ってのは

金に担保されていないといけない。

けどドルなんてされていないわけです。

金交換の停止(ブレトンウッズ体制崩壊)以降

ドルの信用というのはアメリカの軍事なんかの信用力でした。

その信用といういまいち分からないものを元に

ジャブジャブマネーをしてきたアメリカ日本欧州だけでも、

そこで世の中で出てきたのが銀行家による民衆搾取という

構図でして、

ここでビットコインの2100万BTCで固定するという

考え方が重要だったわけですね。

けどビットコインは色々な通貨がハードワークで誕生したと。

実際はジャブジャブマネーと同じだったと、

そろそろ多くの儲かった人たちが言い出してる。

逆に金に担保された暗号通貨が出たらそれはそれで

買いでしょう。

が、いずれ出てくるでしょう。

それで金にしっかり担保されていたらこれは搾取もクソも

なくて金の埋蔵量というのは地球に担保されてますから

今のような法定通貨の価値が落とされて民衆の資産が

間接的搾取されるということもかなりなくなってくるんですけども

これが今の人類の課題としてあります。

仮想通貨を信奉する人には政府紙幣を発行すれば全てが

解決すると思ってる人は多いわけだけど

それ以上に金もしくは最低でも銀に

担保されていないと意味がないと私は思いますよね。

※それで将来想定されることとしては

おそらく金保有している中国ロシアインドあたりで

「金地金に担保された仮想通貨」が2020年前後には

登場すると思われる。

その時は すさまじく買い になります。

それでそんな紙幣も仮想通貨も世界にはまだないわけですから

(正確に言うと金に担保させた仮想通貨というもの

あるにはあるけどまだまだですよね。)

それならば正貨の金を資産として考えて保有しておけばいい

というのが世界の富裕層たちの本音としてあるのでしょう。

だから金投資、じゃないんですね。

あくまで資産の王道、本来の正貨は金なので

それを世界の富裕層はペーパーマネーの法定通貨がダメになるのを

見越して持っているってことでしょう。

今はまだ仮想通貨の話題が大きいので金なんかは

隠れた存在で、注目されてませんが

いやでも金はこれから注目されてくると思いますね。

そして、みんなが気づいたときにはもう遅かったりします。

だから金や銀なんかの実物資産なんかはこれからは
注目してもいいかもしれません。

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみにインフォ業界で

金投資とかの情報教材はほとんどありません。

なんでか？というと

ただ買って保有するだけだから、

情報教材にもならないからですね。

PDF 一枚で終わりそうです。

あとは金地金の優位性を説明するためには

ドル防衛とか、対米従属とか、あとはこれから

中国ロシアなんかの BRICS が力を増すとか

極めて政治的な話も混ぜないとその意義が伝えられないからで

あとはネットウヨみたいな自称愛国者の人が

みんなめんどくさいからってのもあるんだけど

(けどこの人たちも2013年は元気あったけど

もう元気ないですね。2013年が彼らの旬でした。)

あとは

これは結構情報教材を作って売るほうとしても文章に落とし込むのが

難しいからです。

そしてそれは複雑になるので一般受けしないんです。

それよりも分かりやすい「仮想通貨で10万円が1億円になった」

とかのほうが、大衆受けするからそういうのが

多いっていう事情もあつたりします。

けど実際の話は仮想通貨長者は金地金にポートフォリオを

割り振ってますし

かなり金を保有してて海外のセキュリティが強い

金庫なんかに入れてるってのが現実でしょうから、

これはこれで知っておいたほうがいいかなって思います。

人々は法定通貨というのが単なる紙切れと気づいて、
初めて金の意味に気づくと思います。

では！

追伸2・・・そしてマーケティング的な点で言うと
大衆に受けがいいのは

1 札束で満杯の風呂

と

2 金塊で一杯の風呂

だと1の札束の風呂のほうです。

だから富裕層であることをアピールするための
演出として採用されるのは1のほうですね。

大衆は金塊よりも札束が好きです。

すなわち、法定通貨の論理に洗脳されてる人が大半です。

けど実際の話はそういうマーケを仕掛ける側の

超金持ちの家は壁もテーブルも金ゴールドであったりするわけです。

法定通貨をどれだけ信用しているか、と言う部分で言うと
大衆は法定通貨を相当信用してまして、
一方超金持ちたちは全然法定通貨を信用していない、
っていう傾向はあるんでしょう。

これも知っておくといいと思います。

ちなみに純金ネックレスとか純金リングは
日本では「成金みたい」と思う価値観が形成されてますが
金保有量が少ない国の価値観です。

けど中国や韓国では純金ネックレスや純金リングは重宝されます。
そして彼らが金持ちになってきてるってのは偶然じゃないんですね。

私たちが当たり前と思ってる 純金のアクセサリーについての
価値観もこれ、実は大きくは政治や金融の情勢が
左右されて、形成されているといえます。

が、多くの方は、まさか自分の感情や認識がそこまで
洗脳され操作されてる結果だとは思っていません。

「自分だけは洗脳されていない」と思ってる人ほど洗脳されてます。

以前に「オセロの中島さんが洗脳されてる」と

日本中が騒いでましたが、

実は洗脳されてるのはその

「洗脳されてる」と騒いでた人たちです。

自分のあらゆる価値観が洗脳されてると気づくために

学ぶと言う行為が大事になります。

それで結果、ちゃんと自分自身の人生に役立つ考え方を持って

行動できるから人生がまあ納得できるものになっていく

ということですね。

では！